

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人かながわアドバンスサポート

② 施設・事業所情報

名称：株式会社アンティー光の園保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：佐藤 亜矢	定員（利用人数）： 48名
所在地：横浜市港北区篠原北2-4-9	
TEL：045-423-6755	ホームページ： <a href="https://www.auntiy.com/hikarinosono.html">https://www.auntiy.com/hikarinosono.html</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2009年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社アンティー	
職員数	常勤職員： 10名 非常勤職員 9名
専門職員	施設長 1名 調理員 1名
	保育士 16名 事務員 1名
	栄養士 1名 保育補助 3名
施設・設備の概要	保育室 1室 調理室 1室 乳児用トイレ 5個
	乳児室 1室 屋外遊技場 75.13㎡

③ 理念・基本方針

【保育理念】

北海道大学名誉教授 故 若井邦夫先生（乳幼児発達心理学）の理念のもとに、「子どもの心を大切に」を基本理念にあらゆる子どもの可能性を信じて、発達に必要な健全と安全を守ります。

○自立に向けて基本的な生活習慣の確立と社会性と協調性を育む保育を目指します。  
○依存・信頼・遊び・体力・意欲・知恵の育ちを大切にします。“心・知恵・身体のバランスの取れた育ち”を大切に、成長の過程で出会う目の前の問題や、壁を乗り越えられる精神の構築を促す保育を行います。

【保育方針】

○問題や、壁を乗り越えられる精神の構築を促します。  
○色々な事を経験し、社会性・協調性を身につけます。  
○自主的・自発的・主体的に生きる力を育みます。  
○家庭的な雰囲気の中で共に生きている喜びや互いに感謝する心を大切にします。  
○地域の人々との触れ合いを大切に保育活動を行います。  
○職員は信頼される態度で言葉使いを大切にします。

【保育目標】

○思いやりのある優しい子、を育てる。  
○自己解決力のある強い心の子、を育てる。  
○仲間を大切に、社会性・協調性のある子、を育てる。

#### ④ 施設・事業所の特徴的な取組

##### 【立地および施設の概要】

株式会社アンティ系列の光の園保育園は、定員 48 人の小規模園で、JR横浜線、東急東横線「菊名駅」より徒歩 3 分の、JR「菊名駅」ホームから園舎を一望できる真ん前に立地しています。「菊名駅」は横浜、新横浜のオフィス地区に隣接しており、また京浜工業地帯及び都心の渋谷も近く、保護者の通勤には最適な場所にあります。

園の周辺には数多くの公園が点在しており、園では子どもたちの発達に合わせて、遠近の公園を選び、散歩に利用しています。

園舎は本園・分園に分かれており、本園は鉄筋コンクリート造りのビル 1 階部分、分園は木造 2 階建ての 1 階部分にあります。駅近園であることから小さな園庭ではありますが、光が注ぎ、街行く人が気軽に声を掛けられるような外壁になっていて、地域に親しまれる環境になっています。また細部に工夫を凝らし、園庭にステージや鉄骨を組んでブランコやロープあそび、うんてい遊びが出来るように設計しています。

##### 【園の特徴】

園の目標、年間保育テーマとして「世界の平和を願う人として、輝いていきましょう」を掲げ、そのテーマに沿って子どもたちの情操教育を行うように努めています。特に平和教育を大切にし、毎月のお誕生日会や集まりの場で、世界の紛争や貧困にも目を向け、私たちにできること、どうしたら平和が訪れるかなどを考える機会を持つように働きかけています。

また、モンテッソーリ講師による文化や自然、文字・数の学びを取り入れたり、課外教室としてYMCA体操・水泳や空手教室、リトミックの専任講師による音感教育、第二言語に触れる機会として外国人講師によるアートタイムなど多様なプログラムを取り入れています。

#### ⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年07月10日（契約日） ～ 2024年2月13日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3 回（2019年度）

#### ⑥ 総評

◇特に評価の高い点

##### 1. 豊かな保育の提供

「幼児期の終わりまでに育みたい10の姿」を全職員が、乳児幼児研究会でケース会議を行うことで、年齢別に実践として捉えて保育に向き合っています。各クラス担任が、自らの考えをまとめ発表することにより、互いに理解を深め合うことができ、職員同士もすべてのクラスに対して協力して保育することができています。

また、年間 2 千時間に及び長い時間の生活の場が子どもたちにとって「様々な経験をする機会に出会えるように」心・知・体を意識した課外プログラムを取り入れられます。特に 4・5 歳児の YMCA 体操教室・水泳教室・音楽リトミックは園児たちが十分に楽しむ姿が見られます。また園内でも音楽リトミックを独自に学び合い室内活動も豊かに取り組んでいます。また、戸板を用いて室内にダイナミックな運動環境を設定し、各年齢に合わせた方法で全身運動を楽しんでいます。

職員は子ども達の心身の成長や提供方法を工夫するために園内でしっかりと研修を行い、安全にも十分に配慮して取り組めるようにしています。

##### 2. 職員の丁寧な言葉使い、人材育成

子ども達が過ごす生活の場が温かい大人に囲まれて過ごせるように、職員同士の心理的安全性も重視し、2021年頃より「心理的安全性の確保」についての園内研修会を定期的開催し、職員同士のフォロー体制や子どもへのポジティブな関わりを意識する風土作りを大切に取り組んでいます。

本園の職員は、丁寧な言葉遣い、美しい所作を心がけ、子どもたち・保護者に対して接しています。保護者アンケートの「お子様が大切にされているか」「保育園生活を楽しんでいるか」という項目の満足度にもつながっています。

### 3. 環境を活かした保育

本園では、小さな園庭を工夫して使い、プランターでじゃがいもやサツマイモを苗から育てたり、インゲン・オクラ・ブロッコリー・サニーレタスなどを土を耕し、種を撒き、水やりをして育てることで食育の一環として野菜作りを行っています。

子どもたちに野菜ができるまでの過程と実りに感謝する心をはぐくみ、「食べる事は生きること」に気づき、実感を与えています。その他にも園庭のジュンベリーの木は毎年5～6月にたくさんの実をつけるので、2歳児から5歳児で収穫体験をし、4・5歳児がジャム作りをして皆で食べる経験を通して、園全体で体験する喜びにつなげています。

### 4. 美味しい給食

子ども達が長い時間過ごす生活の場に安心して十分に保育活動を楽しむと同時に食欲をしっかりと満たすことができる美味しい給食にも力を入れています。給食会議を丁寧に行い、系列園同士でレシピを学び合う場を設けたり、外部研修として洋食店等で実際に食事を食べながら、保育園での給食提供に活かせるような研修も行っています。毎月のケーキにはろうそくの灯を灯して、お祝いしたり、収穫感謝祭ではフルーツピュッフェを楽しんだり、豊かな食育計画がなされています。

#### ◇特に期待される点

##### 1. 改善テーマの体系的取り組み方

保育園の運営上の要改善課題は、各種指導計画の見直し、振り返りや定期的に行っている保育士一人ひとりの「自己評価」の纏めから浮上するものであり、園は、責任者を決めた職員の小グループ活動で改善作業に取り組んでいます。この改善作業が順調に進められ、成果を得られることを期待いたします。

## ⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度の第三者評価機関のみなさまに深く感謝いたします。今回の受審にあたり、自園の保育を振り、保育の質の向上につなげるとともに、お子様の育ちに携われることの喜びや責任の大きさを改めて実感いたしました。また、職員と共に考えを共有することで有意義な時間を持ち、光の園保育園の強みと課題を再確認する良い機会となりました。コロナ禍の保育では、行事のあり方や保育の可視化に課題を持ちながら、試行錯誤しての保育活動となりましたが、保護者様方からご信頼を寄せて頂いていることを感じるメッセージ、評価を頂けたことは、大変大きな励みになりました。保護者の皆様からお寄せいただいた貴重なご意見をしっかりと受け止めて、今後も期待と信頼に応えられるように努めて参ります。今回の評価で課題となった点として、中長期計画や事業計画につきまちは、職員参画のもと意見を出し合い、園の自己評価から見えてきた課題を職員全体で共有して作成していきたいと思っております。最後になりましたが、今回の第三者評価の経験を活かし、頂いた助言を日々の保育にしっかりと取り入れて、今後も職員一丸となり お子様方・保護者の皆様・地域の

方々に寄り添う保育を目指していきたいと思います。  
この度は第三者評価のはじめからご丁寧な説明、迅速で公平且つ適切なお対応、誠にありがとうございました。

- ⑧第三者評価結果  
別紙2のとおり